

学校教育目標

『人権尊重の精神を基盤として

- ・ 正しく判断し、行動できる生徒
- ・ 自ら考え、自ら高める生徒
- ・ 心身を鍛え、ねばり強くがんばることができる生徒』

学校通信

美原中だより

令和8年2月号

堺市立美原中学校

校長 新田 義政

1・2年生 チャレンジテスト

1, 2年生は1月14日（水）に大阪府のチャレンジテストを頑張りました。1年生は初めてのチャレンジテストで戸惑いもあったでしょうが、最後まであきらめずによく頑張りました。2年生はもう2回目なので慣れていたようでした。来年は3年生になり、チャレンジテストに加えて、全国学力・学習状況調査などもあります頑張ってくださいと思います。

3年生 入試に向けて、いよいよ！

3年生はほとんどの生徒たちが私学への出願を終え、いよいよ2月10日（火）、11日（水・祝）が入試です。一緒に頑張っていかなければと身が引き締まる思いです。そして、その前に、3年生は他学年より先に、1月21日（水）から3日間学年末テストに取り組みました。引き締まった良い表情で頑張ってくれていました。

教育の動向の変化

「生成 AI」という言葉を最近よく見聞きするようになりました。「生成 AI」は、文章や画像、音声など様々なものを使っている人のリクエストに応じて作ってくれます。「プロンプト」とよばれる「生成 AI」に指示を与えることができる場所で、自分が作って欲しい文章を指示すると、それに応じて文章を作ってくれます。その時に、条件をできるだけ具体的に与えることが大切です。例えば、会社の新年会のあいさつ文でしたら、その会社の変遷であったり、自分が入れて欲しいエピソードを入力したり、あいさつの中に入れて欲しい条件をできるだけたくさん示し内容を絞ることで、自分のイメージに合った文章を作ってくれる可能性が高くなります。一度、作ってもらった後で、さらに、修正の条件を追加することでさらに精度はあがります。画像でも、自分が撮影した写真などの画像をベースに、こんな風に加工して欲しいと頼むと、その要求に応じて加工してくれたりします。元のベースの画像がない場合でも、文章で、作って欲しい画像のイメージを入力すると、それに応じたものを作ってくれます。本当に便利なツールで驚きます。

そのツールとして、生成 AI ブームの火付け役ともなった OpenAI 社の ChatGPT, Google 社の Gemini, Microsoft 社の Copilot などが有名だと思います。「もう使っている！」という方や、「聞いたことはある。」という方も多いと思います。ゲームアプリの開発にも活用することができます。私の知り合いが一人でロールプレイングゲームのプログラム（ドラクエや、ファイナルファンタジ

ーなどのようなもの）を作成していたのですが、その作成場面を見て驚きました。以前だと、一から全て自分でプログラムをタイピングしていたところ、Gemini とこんなプログラムを作って欲しいとゲームのイメージを対話しながら作っているのです。もちろん、作ってくれるプログラムのコードの意味がわからないと修正できないので、プログラムの知識や技能は必要となりますが、叩き台となるプログラムを作ってくれるので、大幅な時間短縮が図れます。もしかしたら、AI への指示の出し方次第で、素人でもある程度開発ができるようになるかもしれません。

学校でも、1年生の英語で Microsoft 社の Copilot を活用した授業を行っています。例えば、英作文の授業で活用していました。課題は「冬休みでの出来事」についてです。1文で終わるのでなく、複数の文を作って、それぞれの生徒が冬休みの出来事について紹介するのです。1年生で語彙も少ない上に、文法も使える範囲が限られてきます。「もちつき」って英語でどう表現するのか。「凧あげ」「うーん、英語でどう表現していいかわからない。」その結果、あまり進まないというのが現実です。先生に質問してもよいのですが、冬休みの出来事はみんなそれぞれ違います。先生は一人です。さあ、困った。即座に教えて欲しいのが現実です。そんなときに、Copilot に、『『もちをつく』は英語でどう書いたらいいのか教えて。』と聞きます。そうすると、「Pound rice cake」や「Make mochi」などの答えが返ってきます。ただ単に教えてくれるだけはありません。こんなときは、こっちの方がよいなどのアドバイスもついてきます。生徒たちはそれを読んで、取捨選択していきます。そのような生成 AI との対話を納得いくまで繰り返し続け、自分が作りたい英文を作り上げます。先生を一人占めしているようなイメージです。英語が苦手な生徒も、のめりこみ、生成 AI の支援を受け、自分のイメージした英文を作ることができていました。英語が得意な生徒はさらに、新しい表現を生成 AI から教えてもらうこともできていました。まさに個別最適な学習が実現できます。

しかし、生成 AI にも問題点はあります。あるテレビ番組で、学校で俳句の宿題が出たが、自分で俳句を考えず、生成 AI に丸投げして宿題を終わらせたという事例が紹介されていました。「自分が学ぶのだ」という意思を持った主体的な学習につながるような指導が課題となります。しかし、これからいろんな学習場面で活用されるようになってくると思います。また、子どもたちは生成 AI を活用していく術を身につけなければならない時代になってきています。私たちも世の中の動向を見ながら、新しい時代の教育に挑戦していきたいと思っております。

日	曜日	2 月 行 事 予 定
10	火	大阪私学入試
11	祝	大阪私学入試
12	木	PTA 実行委員会
16	月	公立特別選拔出願（～17 日）
19	木	公立特別選抜入試 学校保健委員会
20	金	公立特別選抜入試
24	火	1・2 年学年末テスト 3 年公立一般選抜進路懇談
25	水	1・2 年学年末テスト 3 年公立一般選抜進路懇談
26	木	1・2 年学年末テスト 3 年公立一般選抜進路懇談
27	金	なかよし お別れ遠足

3 月の主な行事予定

- ・ 2 日(月) 公立特別選抜合格発表
- ・ 4 日(水)～6 日(金) 公立一般選拔出願
- ・ 11 日(水) 公立一般選抜入試
- ・ 13 日(金) 卒業式
- ・ 16 日(月) 新 1 年生 写真業者選定会議
- ・ 24 日(火) 修了式